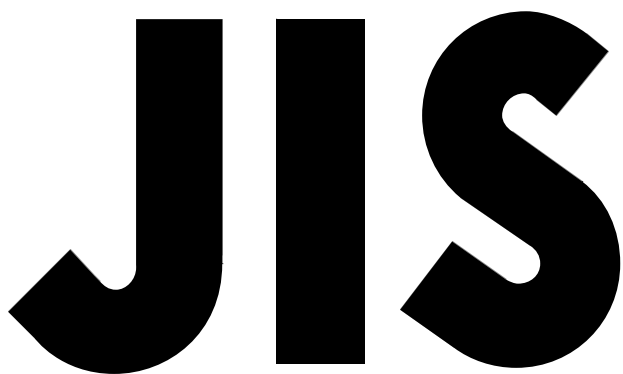




鉄鉱石－ICP 発光分光分析方法

JIS M 8206 : 2014

(JISF)

平成 26 年 2 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	長 井 寿	独立行政法人物質・材料研究機構
(委員)	石 橋 久 義	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社熊谷組)
	磯 村 陽 治	一般社団法人日本鉄道施設協会
	岩 本 佐 利	一般社団法人日本電機工業会
	宇 治 公 隆	首都大学東京
	太 田 幸 男	高压ガス保安協会
	岡 崎 雅 之	公益社団法人自動車技術会 (株式会社本田技術研究所)
	緒 方 隆 昌	一般社団法人日本非破壊検査協会 (川崎重工業株式会社)
	北 田 博 重	一般財団法人日本海事協会
	木 村 裕 司	大同特殊鋼株式会社
	吉 良 雅 治	一般社団法人日本産業機械工業会
	櫛 田 宏 一	JFE スチール株式会社
	田 中 龍 彦	東京理科大学
	千 葉 光 一	独立行政法人産業技術総合研究所
	安 田 素 郎	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	芳 山 純一郎	新日鐵住金株式会社

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 26.2.20

官 報 公 示：平成 26.2.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本鉄鋼連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-4826)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会 (委員長 長井 寿)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文.....	1
1 適用範囲.....	1
2 引用規格.....	1
3 用語及び定義.....	2
4 一般事項.....	2
5 要旨.....	2
6 試薬.....	2
7 装置.....	5
8 試料はかりとり量.....	6
9 操作.....	6
9.1 試料溶液の調製.....	6
9.2 発光強度（比）の測定.....	7
10 空試験.....	7
11 共存成分の重なり係数.....	7
12 検量線の作成.....	8
12.1 検量線用溶液の調製.....	8
12.2 検量線の作成.....	9
13 標準化〔発光強度（比）の補正〕.....	9
14 計算.....	10
14.1 最終結果の計算.....	10
14.2 酸化物含有率の算出.....	11
15 許容差.....	11
15.1 許容差.....	11
15.2 対標準物質許容差.....	11
附属書 A（参考）多成分系検量線用溶液組成例.....	13
附属書 B（規定）装置性能試験.....	14
附属書 JA（参考）JIS と対応国際規格との対比表.....	17
解 説.....	21

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本鉄鋼連盟（JISF）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

鉄鉱石—ICP 発光分光分析方法

Iron ores—Inductively coupled plasma atomic emission spectrometric
method

序文

この規格は、2006 年に第 2 版として発行された **ISO 11535** を基とし、操作などについて技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、天然鉄鉱石、精鉱及び焼結鉱を含む塊成鉱中の**表 1**に規定する 7 成分の含有率を ICP 発光分光分析方法によって定量する方法について規定する。

この方法は、各成分について**表 1**に規定する範囲の定量に適用する。

表 1—適用分析成分及び定量範囲

適用分析成分	単位 質量分率 (%)	
	定量範囲	
アルミニウム (Al)	0.07 以上	3.30 以下
カルシウム (Ca)	0.012 以上	6.80 以下
マグネシウム (Mg)	0.008 以上	1.90 以下
マンガン (Mn)	0.012 以上	1.70 以下
りん (P)	0.011 以上	1.60 以下
けい素 (Si)	0.44 以上	<u>4.00</u> 以下
チタン (Ti)	0.018 以上	0.17 以下

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 11535:2006, Iron ores—Determination of various elements—Inductively coupled plasma atomic emission spectrometric method (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS G 1258-0 鉄及び鋼—ICP 発光分光分析方法—第 0 部：一般事項